

## 上十条一丁目路地園芸トライアル

# 第2回ワークショップ 上一西路地園芸探検と 路地園芸ワークショップ

講師：賀来 宏和 氏

株式会社グリーンダイナミクス代表取締役

片山 陽介氏

株式会社グリーンダイナミクス植物調査室

### ◆上一西路地園芸探検

- ・上一西の園芸を発見して楽しもう
- ・園芸のコツを専門家から現場で直接聞こう

### ◆ワークショップ「路地園芸トライアル」

- ・路地を園芸で彩る方策をみんなで考えよう

平成 18 年 3 月 30 日 (木)

13:30～16:00

上十条一丁目西町会会館

## 開会

司会 片山さん、賀来さんと役割分担もしているそうですので、まちを歩きながら1時間程度歩いて最後に次回やっていただく、実際に皆さんで園芸をやってみましょうという路地を見て帰ってきて、どういうことをやったらいいかということ、片山さんに講師をやっていただいて、皆さんで考えるというスケジュールでございます。今日は人数が何人来るかわからないというパターンですので、あと5分くらいお待ちしてまちなかに出ていきたいと思います。よろしく願いいたします。地図をお配りします。人数が多いようでしたら2班に分けようと思ったのですが、少ないようですので1班でひとかたまりで行きたいと思います。

今日こちらに来ているメンバーを紹介します。賀来さん、片山さんは先ほどご紹介させていただきました。それからまちづくり公社から、

公社 公社の富永と申します。



司会 あと鈴木さんがいらしていたはずなんですけど。それから区役所の方から

区環境課 環境課の環境緑化の係長の星野でございます。いつもお世話になっております。

環境課の足立と申します。よろしく願いいたします。



司会 それから主催団体の路地のまち連絡協議会の事務局長をやらせていただいています、木村です。それと会員であるんですが、家政大学の手嶋さんがいらっやっています。家政大学で講師を、講師でしたっけ？

手嶋 一応助教授です。

司会 助教授になられた！すみません。申し訳ございません。手嶋さんは谷中の方でもまちづくりをやられているオーソリティーです。それからわたしの本業の方の会社(株)都市計画同人)のスタッフの海老原でございます。

海老原 よろしく願いします。

## 賀来講師説明

ちょっと移動の前に、ごあいさついいですか。じゃ、ここで座ってお話しします。前回は本当にお忙しいところ、ありがとうございました。ご紹介いただきましたように、今日も2回目のワークショップということで、皆さんと一緒に回りしたいと思います。冒頭木村

さんからご紹介いただきましたように、植物の方はイケメン片山の方がお答えをしたいと思いますし、雑学はわたしの方でお話しをさせていただきたいと思っています。

前回のお話しの時に、河合といううちの社員をご紹介しましたけれども、3月26日のNHKの「趣味の園芸」でバラのお話しを5分くらいさせていただきまして、それから5月のおしまいの「趣味の園芸」で今度はメインでバラの方のお話しをさせていただきます。今、書店でバラ大百科ということでNHK出版75周年という企画で本が出ておりますけれども、その大半の中身は河合という者が書いております。

そういうハナタレがひとりおりまして、もうひとりのハナタレがこの片山でございますので、実際は植物の方はこの片山の方が大変詳しくございますので、ぜひお聞きいただきたいと思っています。今日は歩きながらですね、皆さんが日常で草花を育てられていて、例えば困っている点とかですね、こういうお花は合うんだろうとか、あればどんどん聞いていただいて、と思います。たぶん彼はホラを吹くタイプじゃありませんから、わからないことはわからないと答えると思います。世の中でも間違っただま知識が流布しているケースもありますので、ぜひお花とか、緑化とかそういうお話しをありましたらご質問いただきながら、皆さんと一緒に楽しく回りたいと思いますのでよろしく願いいたします。

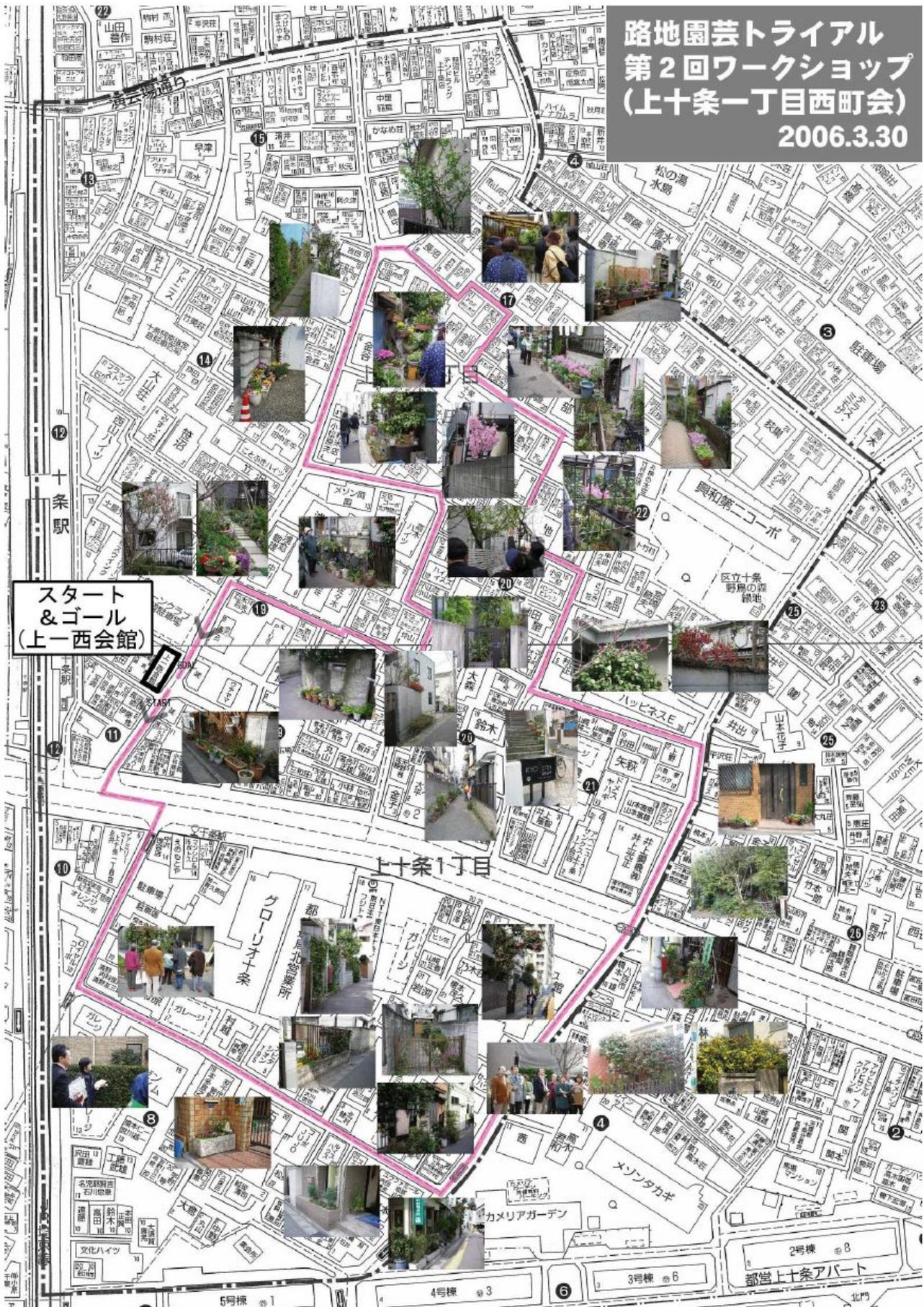
司会 ちょうど会長もいらっしゃったので、まちに行きたいと思います。もし画板を使いたいという方いらっしゃれば、数少ないんですが手を挙げてくだされば。

### 上一西路地園芸探検





# 上一西路地園芸探検ルート図



## ワークショップ「路地園芸トライアル」

司会 それでは皆さん、お疲れさまでした。ありがとうございました。いろいろすごく多いのでとてもびっくりしています。カメラを持っていたんですけども、撮りきれませんでした。これからは、グリーンダイナミクスの片山さんに、見ていただいたあそこの路地の部分ですね、細淵さんのところを重点的に、という訳ではないのですが、十条コーポのブロック塀の部分も含めてきれいな路地にしてみようと、ということで皆さんにご協力いただければと思います。よろしく願いいたします。片山さん、お願いいたします。

### 片山講師説明

それでは、座って始めさせていただきますけれども、今、皆さん路地を歩いてこられて色々鉢物が置いてあったりですね、地植えしている木があったりと色々なものを見てきたと思うんですけども、今回ポイントを絞って路地をきれいにしましょうということで考えているのが、十条コーポA棟から井戸にかけて、あの辺り周辺ですね、ひとつのモデルケースとして飾っていかうというのを考えています。一応そう考えているんですけども、いやそんなところじゃなくてわたしの家の周りをきれいにしたいということがございましたら、またそちらの方で考えますけれども、基本的に特に何か決まりを設けて飾っているということはないと思うんですね。皆さん、こういう花が好きだから、とか、ご近所にもらったからというような形でいろいろ栽培されていると思うんですけども、きれいにまとめて見せるとか、どういう風にしたらもっとよく見えるだろうか、きれいに見えるだろうかということを考えていく必要があると思うんですね。

そういったときに色々な方法があります、見せ方としては。例えば、大きなコンテナに寄せ植えを作っておくというのもひとつそうでしょうし、それからひとつひとつの植物を大きく育ててそれをポイントとして見せるという方法もありますし、一鉢ずつ育てた植物を、寄せ植えではなく寄せ鉢という形で鉢を寄せて見せていくという方法もあります。色々な方法がありますから、そのときに応じてどういう方法が一番いいかというのは考えればいいと思うんですけども、今回の井戸周辺、それから十条コーポ辺りを見ていただいて、皆さんがお気づきになった点とか、例えばここにこういう植物を置いたらもっと見栄えがするんじゃないか、とかいうのがありましたらぜひ皆さんに意見をいただいてそれをまた議論していきたいなと思っています。

方法としましては、あちらに対象となる路地を拡大した地図がありますので、そこに皆さんの意見をいろいろ書き込んでいって最終的にとりまとめをしたいと思っています。

それですね美しく見せる方法として、皆さんのお手元に資料をいくつかお配りしておりますけれども、資料1という方をご覧くださいと思います。そちらにですね、これが必ずしも正解とか、間違っているとかいうことではないんですけども、こういう方法がありますよということを4つ事例を出しています。

4つのうち、まず1つ目として、写真4枚ありますけれども、形を統一している、と。例えば行灯仕立てにしたものをいろいろ並べるとか、植物自体の仕立てですね、盆栽もひとつの仕立てだと思えますし、大菊の3本作りというのも、あれもひとつですね。ああいった形が統一されている、と。それからもう一つ、今ご覧いただいた通り、植物を植えら

れている方法が地植えにしているのはともかくとして、例えばプランターに植えてある、発泡スチロールのト口箱に植えてある、プラスチックの鉢に植えてある、素焼きの鉢に植えてある、ビニールポットのも置いてある、といろいろポットの大きさとか、材質がそれぞれありました。こういったものをですね、例えば黒い鉢に全部統一するとか、同じ形に揃えるとか、という方法も美しく見せるひとつの方法であります。

それからもうひとつ、色を揃える、と。なかなかたくさん色があるとまとめにくくなってきます。赤だったら赤、ピンクだったらピンクで揃える方がパッと見たときの見た目は揃っている感じがしますね。それから同系色、赤だったら濃い赤、薄い赤、ピンクに近いような赤というような形で、グラデーションを作るですとか、そういった同系色でまとめるというのもひとつ。

それから4つ目としては組み合わせ。先ほど寄せ植えとか寄せ鉢というふうに申し上げましたけれども、凝った寄せ植えを作らなくてもですね、単純な組み合わせでもかまわないですからそういったものがいくつか並んでいる、というのもまとまった感じに見せる方法のひとつですね。ここに4つの考え方を載せたんですけども、あの路地を修景するに当たって、そういったことも考えつつ皆さんでこういうふうになりたいとか、こういうふうにしたくなってきたとか、やっぱりうちの家をきれいにしたいとか、いうのもあると思いますのでそういった意見をいただきたいと思います。

では、ポストイットを用意していますので、

司会 全員一緒にやりますか、それとも2班くらいに分かれますか。

片山 2班にしましょうか。

### 賀来講師補足

今、片山の方でご説明しましたけれども、先入観にとらわれずに自由にこういうお花を使ってみたいとか、ここはこうしたらどうかということで、書いていただければと思います。このお手元の資料は、調和の取れた街並みをつくるときには、これが一番やりやすい方法なんですね。やりやすい方法ですよということを書いているだけですので、これにこだわる必要はないと思っています。

今日もご覧いただいた中で、どなたかのお家ですけども、黒いペンキか杉板みたいなものに鉢を並べられていたところがありましたよね、すごく絵になっていました。あれは実にこの素材がひとつ同じようなものでおさえられていたので大変きれいに見えたということだと思います。

それから2番目のコンテナの材質、大きさ、色、形を統一させるというところはですね、よく皆さんもヨーロッパの街並みとか、あるいは第1回目の時にご説明しました江戸のまちがきれいだったということとかをお話すると、なぜきれいだったかというふうに思うんですけども、ずっとさかのぼっていくと、昔はそんなに使う素材がなかったんですね。建築にしても、身の回りにバラエティのある素材がなかったものですから、必然的に皆さんが同じような材料で飾ったり、お家の形も同じようなものになりますので、それで非常に街並みが美しかったと。でも最近はいろいろな石油製品の化学的なものとか、

ガラスとか鉄とか、それから建築もそれぞれ皆さんデザインをされるようになりましたので、街並みに統一感がないというところもあります。これを統一するというのも、ひとつ方法だな、と。あえてはずすという方法もあるかと思います。

それから「色を統一させる」というのも、比較的やりやすい方法です。反対色を使うとなると、良く考えておきませんと非常にごちゃごちゃした感じになりますので、よくありますのは、白いお花を基調に季節によって紫を入れるとか、ブルーを入れるとか黄色を入れるとかすると比較的無難ですよね。それから最近イギリスなんかで流行っているブラックアンドホワイトガーデンということで、黒と白で分けるとかですね、こんなことも面白いと思います。

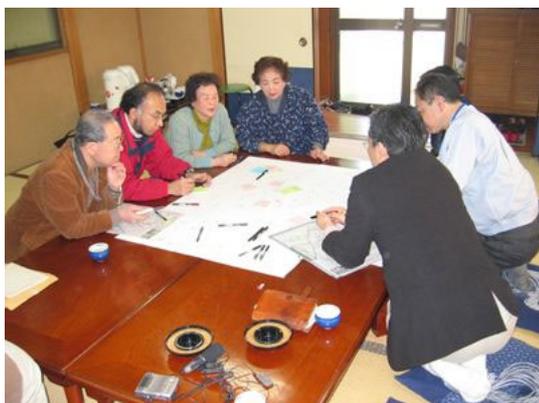
いずれにしても組み合わせを統一させるというところが重要で、全体としてどうやってバランスをとるか、先ほど仕立てる形を統一するというところで申し上げましたので、同じ鉢を並べればきれいかということ、生け花でも天地人とかありますよね。全体として重みがうまくこうあったり、美術の世界では黄金分割なんていっていくつかに分けると非常にいいと。そのあたりを皆さんの感性でどういうふうにつくれるかということがポイントかなと思います。ということでちょっと前置きになりましたけれども、皆さんで感じたところを少し紙に書いていただけるといいなと思います。よろしくお願いします。

司会 適当に2班に分かれていただいて、こちら側と向こう側と。じゃ、会長分けてください。あすみの会の3名+沖田さんが2人ずつになって、そこへ女性に入ってくださいというのはどうですか。

沖田 細淵さんと高橋さん、高木さんと。で、片山さんと石黒さんと前島さんが一緒。同じく3人。男は適当に選んで。あとは役所の方に。

司会 では、石黒班と細淵班でいいですか。

会長 そうですね。



## グループで検討

司会 それでは、いいですか。それぞれ案を出して、次回はこれを実際にやっていただくんですよ。皆さんで、どういうふうにするかを決めていただいて。4月末、ゴールデンウィークに入る前くらいですかね。では、こっちは沖田さんに発表していただいて、こっちは高尾さん、いいですか。では高尾さんからお願いします。

### 細淵班発表（発表者：高尾）

花をセットしてなるべく色々な人に見てもらおうということで、気を遣いました。この位置関係わかりますか？わたしは今日行ってないのでわからないんですけど。まえこういうふう歩いてきたので。これずーっと歩きながら、すべてに対してなんとなく花が、コーナー曲がるとこっちが見えて、角曲がるとこっちが見えてそういう植え方をしたらどうか、そういうことを議論していないけれども、なんとなくそう感じました。



まずここは、曲がるともう既にきれいな花があるということでした。反対側のコーポ十条でしたっけ？の方には壁があるんですけども、先生の方からちょっとこのアスファルトのところを10cmくらい砂利が何か敷くといいですねと。前、ここの高橋さんの通路がそんな感じになっていたものですから、何かそれが続くような。ここはちょっと扉があって続かないんですけども。こういう砂利が続くような感じになるといいよね、と。

この壁については、ハンギングですか、そういうのはなかなか難しいので、軽そうな朝顔なんかだったらちょっとはできるかなという話をしていました。

ここを曲がってブロックを3段で上に黒のフェンスがあるということだったもんですから、そこはちょうど家がセットバックしていると。この空間を使って何かできないかということになりました。黒のフェンスがあって家の方が見えるもんですから、ブロック塀の3段部分のまでの高さくらいの低い花や植木を植えたらどうか。ベースを黒い台か何かにして、鉢植えがポンポンポンとあってそれがちょうどブロックの高さくらい。向こう側に黒いフェンスがあって、その向こうは庭にある植木が見えるように。ブロックの手前に何か植えて、中の庭にも色々な木があると、そういう二重に見えるような形にしたら楽しいね、ということですね。

次にここに井戸があって、井戸の向こうにちょっと花が既にあると。井戸がやはりポイントになるもんですから、この井戸のどっかこっちにポイントになるものがあると非常にいいんじゃないか、と。基本的に井戸水は今でも色々使われているということで、皆さんが来られるので、ポイントになるちょっと大きめのものですか？ちょっとわからないですけども。

参加者 これ（ブロック）が三段？

< 細淵班作業図 >



高尾 そうです。ちょうどこれを隠して、かつ黒のフェンスは隠さないぐらいの小さなものがいいんじゃないかと。黒のフェンスですから、鉢植えの下に置く台も黒で固めるということで、基本的には黒を基調にしてこの辺をデザインしたらどうかということでした。

最後はこの対面ですね。対面の細淵さんのガレージが向こう側が見えるものですから、半透明になっていますから何となく庭に植木が何かあるような、そういうような、この辺からちょっとのぞくと「あ、何か植わっているな」と。そういうものを細淵さんの中でしていただければいいなという気がします。

あとはここの高橋さんのところ、ここ非常にいいですね。ただ専門家に言わせると土がかたくて、石炭ガラが入っているので土の入れ替えをしたらどうかという話がありました。あとさっきのこの植木鉢も、重いかもしれないけどできれば陶器、磁器の方がいいですねという話でした。ただ移動しやすいということもあるもんですから、軽いものもあるかな、ということでした。あともう一つ、花だけじゃなくて道具も何気なくちょこちょこ置いてある方が、整然と花が並んでいるのもいいかもしれませんが、色々な道具が雑然とちょこちょこっとあるのもいいですね、と。

賀来 この辺りに道具があっても、すごいおしゃれです



よね。

参加者 それ、いいなと思いましたね。

高尾 それと、このゾーンは日照が限られているので、葉物関係のものも結構いいんじゃないかと、葉っぱのものもいろいろあるものですから、それをいろいろ彩り揃えと  
いいんじゃないですかとおっしゃっていました。あとブロックの上に花を並べるという方法もあるんじゃないかということですね。そんなですかね。

沖田 うちの方はちょっとはずかしくなってきたな。

参加者 ここのことしか考えなかったわね。

### 石黒班発表（発表者：沖田）

とりあえず全部話すと支離滅裂になっちゃうので、一点集中ということでブロック塀だけについて考えました。一応特注なんですけれども、こういうラックを作ってもらって素焼きのコンテナ、40センチくらいのものを3つ置く、と。下に60センチのものを3段。

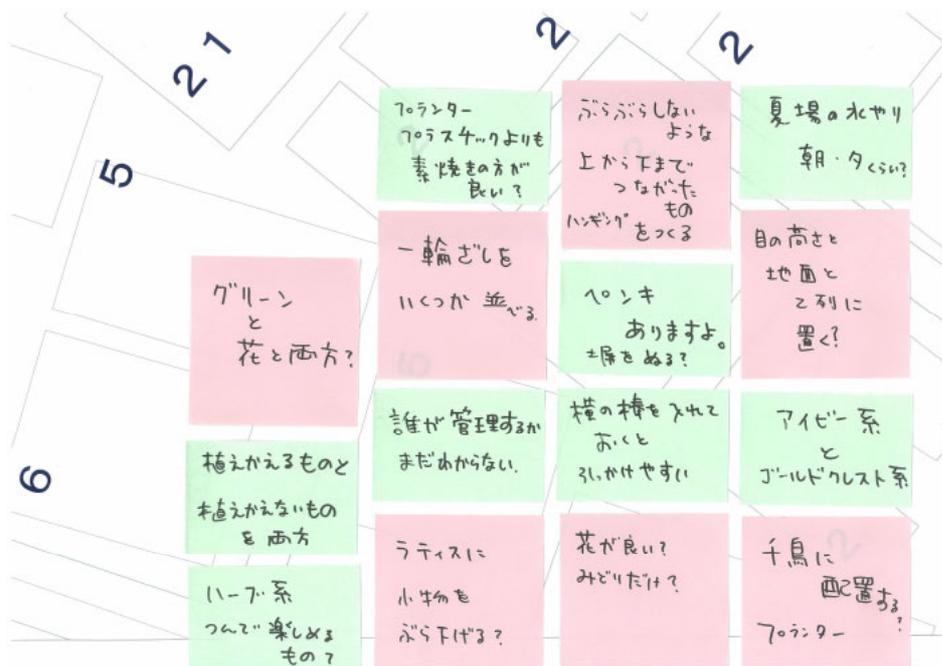
一応ブロック塀も高さが約2mあって不安なので、鉄筋で2m4本、で横にやってに倒れないようにするということでこれを特注で作らせると。で、素焼きのコンテナを置いて下は花物、上は葉物をやると、そういうことで意見通しました。トラックが入らない、



### < 石黒班作業図 1 >



< 石黒班作業図 2 >



片山 半分ぐらいまでトラックが入ったりするというので、それより奥、

沖田 伊藤さんの家寄りのブロックを考えています。その辺を考えて約2mちょっとですね。そういうので、なんとか目立つんじゃないかと。目線の高さで下と2段やればいいんじゃないかということで意見がまとまりました。

参加者 ブロックに這わせるものということで、朝顔というのも出たんですけど、花が終わった後どうするんだということになってしまってます。

参加者 それだけ?

沖田 そうよ。一点集中。

賀来 ご予算とかがあるからどこまでかわかりませんが、もし今の案を統一でやるとしたら、これは黒でやった方がいいと思うんですよね。黒できっちり縁取りが見えるようにして、場合によっては素焼きにするか木で枠を作った方がきれいかもしれないですね。

ここはちょっと土を替えてここはすごくおしゃれなのでこうやって、これはどなたかのお宅で石の上に黒い板を置かれたのがとれもおしゃれだったです。あれのこれぐらいの高さの物を作って、邪魔なときは皆さんですぐどけるようにして、鉢を少し置いたらどうかと。

それから井戸のまわりにひとつポイントを置きたいよね、と。例えば費用的な問題とかダメだったら、井戸のところのひとつの鉢だけでもいいと思うんです。ナス、タチウムかなんかを置くとすごく絵になります。

それから最後にこの細淵さんのところに、ここから見越しでなにかここに花木かなんか、日当たりの関係もあるかもしれないけれど、やらせてもらって、ここのガレージの屋根のところからスダレか何か、さっと垂らす、と。すごい絵になりますよ。

参加者 でも先生、あそこ道幅があるから日当たりはいいんです。

賀来 そうですか。ここの屋根のところはどうです？

参加者 けっこうね。うちは洗濯物がすごくよく乾くんです。案外朝からお日様が当たるんです。



賀来 結構ちょっとした小物で変わってきて、今ここのフェンスのところにも子どもパトロールのマークがついているでしょう。あれをできたらこちら側につけられて。

参加者 いかようにも、いたします。あれは会長から頼まれてつけているんですから。

沖田 あれはやっぱり目立つところにつけないといけないんですよ。

賀来 それはいえる！なんかそうやるとこう、いいかなあとと思いますけれども。

参加者 会長さん、門はペンキ塗ったばかりだからきれいなよ。この間たけちゃんが塗ったの。

沖田 ペンキ余っているよ。

司会 公社で用意するそうです。

いろいろ宿題も出ましたので、わたしは植物のことが全然わからない人間なんですよ、それで賀来さんと片山さんにご相談させていただいて、今日の皆さんの意見を踏まえた形でこんな形でどうというのを次回皆さんにやっていただくような形にしますか。で、そのラックが出来るかどうかというのは見積をお願いします。

沖田 これ、決定なの？

参加者 自分たちで決めたんじゃないの。

沖田 できたらいいなって。

参加者 会長、あんまり重たいのはダメよ。あの塀に沿わせるなら。



沖田 中途半端になっていないで、下までつける形だから、ブロック塀にはあまり負担をかけない、そういう感じ。

司会 逆に鉄じゃなくて、木でできると軽くていいんだけど、そっちの方が高くつきそうだな。鉄だと重たいですもんね。

沖田 これ、直線じゃなくてちょっと斜めにしてあるよ。

参加者 会長さん、端に電信柱があるからね。

沖田 電信柱が20センチくらいだから、そこをはみ出さないような幅のラックだったら邪魔にならないだろうと。

参加者 山崎さんの家は新しいけど、あとの塀はもうみんな古いからがたがきていますからね。

沖田 こういうふうにしておけば、邪魔だということになればどかせばいいんだから。

参加者 そんな情けないこと。やるんなら徹底的にやってくださいよ。

司会 できることとできないことを、予算の関係もあるので整理させていただいて。植物の名前もいろいろ出ているので、今日出た中から沖田さんも入っていただいて選んで、と。

区環境課 植物の本とかもありますので参考にさせていただくようにお渡しできます。

片山 植物に関しては任せてください。

沖田 じゃ、そういうことで、次回お楽しみに。次回の日にちはこのラックによってだよな。

司会 まず値段がどのくらいかかるかで、何をやるかを決めましょう。

沖田 そうですね。

司会 では、そういうことで、一応会長さんを入れて公社、区役所の皆さんと相談をさせて頂きます。で、申し訳ないですが予算が少ないのでその範囲内でできることを、皆さんと楽しくやりたいと思います。今回は表です。では、今日は本当に長い間、ありがとうございました。

参加者

上十条一丁目町会	6名(路地協会員1名:沖田)
十條あすみの会	4名 (町会除く:路地協会員2名:荒木、宇田川、佐久間、高尾)
路地協会員	2名(上記を除く:手嶋、海老原)
(財)北区まちづくり公社	2名(鈴木、富永)
北区役所	1名(環境課:星野、足立)
講師	2名((株)グリーンダイナミクス:賀来、片山)
路地協事務局	1名(木村)

配付資料	1	路地園芸探検マップ(ルート図)
	2	第2回路地園芸トライアルワークショップ資料(資料1)
	3	” (資料2)